

ひので映画大使最新版

第38回映画大使「奇跡のリンゴ」

期 日 平成25年5月30日(木) 試写会にて開催
 場 所 ワーナー・マイカル・シネマズ日の出

【ストーリー紹介】

リンゴ農家の木村秋則は妻・美栄子の農薬の対する反応を心配し、無農薬によるリンゴ栽培を決意する。絶対不可能と言われ、「神の領域」であるリンゴ栽培に挑むが、上手くいかず、家庭は生活の危機にまで陥る事に。そんな絶望的状况の中、秋則が見つけた、ある「事実」とは…。

阿部サダヲ、菅野美穂、山崎努ら、演技派俳優陣が「奇跡の物語」を演じます。



(C) 2013「奇跡のリンゴ」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

凄まじい程の努力に脱帽！

リンゴが食べたくまりました！

阿部サダヲさん、菅野美穂さんらの演技が良かった！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

青森の親戚や、私自身も農業をやりますが、難しいですね。リンゴも育てていますが、青い状態で落ちてしまったりして、無農薬で育てるといのは、非常に興味がありましたが、何が大事かというのが、この映画を観て分かりました。

Bさん

この話はニュースで知りましたが、実際にどう大変だったかというのは分かりませんでした。今日、映画を観て、10年以上の色々な苦労があった事が分かりました。また、家族の素晴らしさに感動しました。俳優さんの演技も素晴らしく、良かったですね。

Cさん

私も商売をしていました。最初の10年間はやはりとても苦労したのを覚えています。10年目で初めて自分の給料をもらった時の感動が甦りました。楽しい映画で本当に良かったです。

Dさん

「奇跡のリンゴ」というタイトルを見ただけでは、あれだけの内容があるとはとても思えませんでした。配役でも、あの3人の子役の見事な表情が印象的でした。笑顔というのは、本当に人を成長させるんだな、って思いましたし、家族の愛があれだけの苦労も乗り越えさせたんだと感じました。深い作品で感動しました。

Eさん

人間というのは素晴らしいと思いました。白い目で見られる状況になってしまっても、最終的には人の優しさが人を支え、救うんだなって感じました。主人公の妻への一途な想い、一生懸命さが、この映画の見所だと思います。ハッピーエンドになるかどうかは別として、人間とは、人生を全う(まっとう)していくんだなと、思いました。

Fさん

宇宙から見れば、人間なんてちっぽけな存在ですが、心の強さは宇宙のように広く、強いんだと感じて、私も勇気をもらいました。3人の娘さん達の目がキラキラしていたのも素敵でした。苦しい中でも、両親の愛情に包まれていたんだな、と感じました。

Gさん

リンゴに農薬を沢山使っていた事や、無農薬で育てるのが不可能と言われていた事を知らなかったのですが、この映画を観て、一個のリンゴを作るために多くの人が苦労して、携わっていて、私達は食べる事が出来るんだというのが分かりました。皆がやろうとしない事や、反対される事を、最初に始める人は苦労を沢山するんだなって感じました。そして成功するためには、身近な事からの発想の転換も大事なんだと思いました。

📌 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・この話は実話で、NHKの「プロフェッショナル 仕事の流儀」でも紹介されていましたね。
- ・最後の畑のシーンには拍手を送りたくくなりました！
- ・人間というのは、どん底を味わうと強くなれるんですね。
- ・家族や周りの人達の大切さが改めて分かりました。
- ・農薬の問題もまだありますが、震災以降の放射線などによる作物への被害って、大変な事ですよね。しかも何年か経ってから影響が現れてくる怖さもありますし。勿論、風評被害があってははいけません、どうしても神経質になってしまいますよね。
- ・お父さん(山崎努さん演じる)の戦争体験の話も良かったですね。あの話で主人公の決心が固まりましたよね。
- ・菅野美穂さんのスマイルが良かった！
- ・「笑顔って人間にしか出来ない」というセリフがありましたよね。大切にしないとイケませんね。
- ・自然の力って凄いですね。
- ・リンゴの花って綺麗ですね。真っ白で。
- ・久石譲さんの音楽も良かったです。

📌 まとめ

気の遠くなる程の手間、長い年月、そして生活が破綻してしまうほどの苦労を重ね完成した、「奇跡のリンゴ」。無農薬に挑んだ、木村秋則さんの実話を描いたこの作品は、観ている側に、「努力は人を裏切らない」という事を感じさせてくれます。いくら何でももうダメだと思っても、あと1年、あと1年だけ…という気持ちになるのは、確固たる「信念」と、周りの大切な人への「想い」がなせる業(わざ)だと、観ていて感じました。

それに加え、人の優しさ、人との絆の大切さも改めて知る事が出来ました。

この「リンゴ」のように遂に成功した例もあれば、結局ダメだった、完遂出来なかったという例も、勿論農業に限らず沢山あると思います。でも、後に続いていく人達がいるのは、先人達への想いと、チャレンジする事で自分を試していきたいからなのでしょう。チャレンジすること自体、今は避ける事が多いのも事実ですが、この作品を観れば、あなたも、「何か」を試してみたいかなと思います。

美しい自然が沢山映し出されます。是非映画館の大画面でご覧ください！

➔ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

➔ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係
電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町平井2780番地 電話 042-597-0511(代表)
Copyright © 2011 Hinode Town All Rights Reserved.

[サイトマップ](#) | [このサイトについて](#)